

科 目 名	障害者福祉論【理学・作業】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	大 川 絹 代						
開 講 年 次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選択必修
授業の概要 及びねらい	1. 現代社会における障がい者の概念と障がい者の実態を理解するとともに、障がい者福祉の社会的背景について理解する。 2. 現代社会における障がい者福祉の理念と意義について理解する。 3. 障がい者の福祉需要の把握方法について理解する。 4. 障がい者福祉に関する法とサービスの体系について理解する。 5. 民間活動及び民間サービスの意味とその現状について理解する。 6. 障がい者福祉及び関連分野の専門職及びその連携のあり方について理解する。 7. 障がい者福祉施策の体系、サービス体系、今後の動向と障害者スポーツとの関連性について理解する。						
授 業 の 到 達 目 標	1. 知識・理解 1) 障がい者福祉の思想と理念について理解できる。 2) 障がい者福祉の歴史と施設福祉からの在宅福祉への移行について述べることができる。 2. 思考・判断 1) 障がい者福祉の法制度と施策について説明できる。 2) 障がい者福祉の国際的な動向について説明できる。 3. 関心・意欲 1) 障がい者における社会参加と社会資源の応用について関心を持つ。 2) 障がい者の生活課題と福祉援助について興味を持つようになる。 4. 態度 1) 国内外の障がい者福祉動向に対して主体的に考える。 2) 事例を通して、障がい者福祉の概要を感じ取る。 5. 技能・表現 1) 新聞記事を適切に用いて、総合的な視点から障がい者施策について説明ができる。						
学 習 方 法	1. 講義形式による学習 2. 視聴覚機器による学習 3. 事例検討による学習 4. レポートによる学習						
テキスト及び参考書等	新・社会福祉士養成講座（14）障害者に対する支援と障害者自立支援制度						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎					70
小テスト等	◎	○					5
宿題・授業外レポート		◎					10
授業態度				◎			5
受講者の発表				○			5
授業への参加度				◎			5
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢						
第 2 週	障害者の福祉・介護需要（地域移行や就労の実態を含む）						
第 3 週	障害者福祉制度の発展過程と障害者総合支援法の概要						
第 4 週	障害者総合支援法における組織及び団体の役割と実際（国と都道府県と市町村の役割）						
第 5 週	障害者総合支援法における組織及び団体の役割と実際（指定サービス事業と国民健康保険団体連合会の役割）						
第 6 週	障害者総合支援法における組織及び団体の役割と実際（労働関係機関と障害者自立支援制度における公私の役割）						
第 7 週	障害者総合支援法における専門職の役割と実際（相談支援専門職とサービス管理責任者と在宅事業者の役割）						
第 8 週	障害者総合支援法における多職種連携、ネットワークと実際（医療関係者及び精神保健福祉士との連携）						
第 9 週	障害者総合支援法における多職種連携、ネットワークと実際（障害支援区分判定時とサービス利用時における連携）						
第 10 週	障害者総合支援法における多職種連携、ネットワークと実際（労働関係機関関係者と教育機関関係者との連携）						
第 11 週	相談支援事業所の役割と実際（相談支援事業所の組織体系と活動の実際）						
第 12 週	身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、発達障害者支援法の概要						
第 13 週	障害者基本法、心神喪失の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律の概要						
第 14 週	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律及び障害者の雇用の促進に関する法律の概要						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	・事前学習と事後学習による主体的な授業への出席が求められます。 ・授業出席の際には必ずテキストを持参して下さい。						